



◀各グループのプレゼンに上司らが講評

女性活躍推進フォーラム in 東京 第4回

16社23人の女性正社員が参加

「女性活躍推進フォーラム in 東京」が12月12日、東京・中央区の日本橋三洋グループビル会議室で開かれた。会員企業16社から女性正社員23人（欠席1人）が参加した。今回が今期東京開催の最終回で、「女性の活躍推進」をテーマにこれまで各グループで練り上げてきた、自社での実現が可能な企画のプレゼン大会を行つた。所属企業の上司やメディア関係者などが傍聴した。

パチンコ業界をつなげるコミュニケーション
ケーションアプリを作成する「繋
がる広がる業界の輪」、絆プロジェクト
クト、「業界内コミュニケーション
ツールの提案」、Bグループ「女性
従業員の自己評価及び若年層の満
足度の低さから、モチベーション
の維持向上などを目的とした女性
従業員サポート専門プロジェクト
チームをつくる「女性活躍推進チー

4回 ム『ONE TEAM』」、 グループ=産休・育休 制度の現状の問題点と して制度の利用方法が 浸透していないことによ る着目、制度を知つても らうことの目的に、読 みたいと思えるような診断チャー ト付きのパンフレットや小冊子の 作成、ポスター掲示などをを行う「既

かりやすい、実現したら利用してみたいなどの意見が挙がり、プレゼンのレベルの高さがうかがえたまた「プレゼンで挙げられた問題点について、男性への要望を教えてほしい」「やりがいや楽しさを伝えていくためのアイデアを教えてほしい」など自社に落とし込んだ展開を見据える質問や発言も多かつた。

「絆プロジェクト」 Aグループの交流

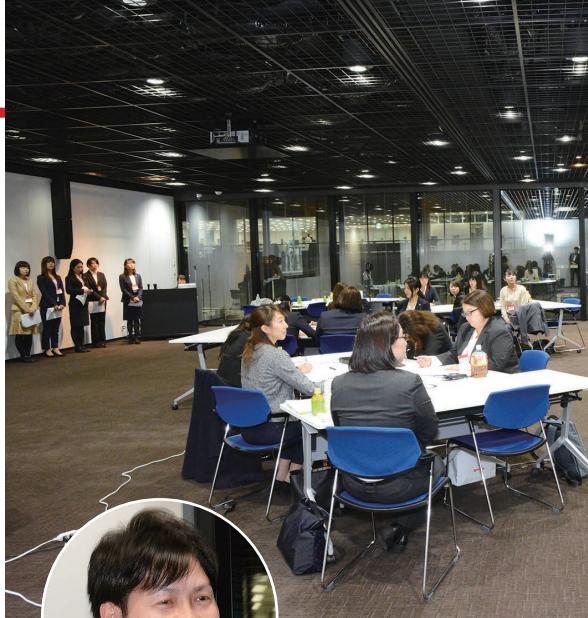
Aグループ＝交流の場としての利用やニュース配信を行うなど、

レベル高く驚く上司も
審査を行った上司等からは、分

最優秀賞に選ばれたのはコミニュニケーションアプリ「絆プロジェクト」のAグループ。ユーモラスな目線の



最優秀賞に輝いた「絆プロジェクト」のAグループ



◀前田竜哉人材育成委員長

トの開催——などアプリを通して業界内コミュニケーションや情報共有を密にすることで、個人の成長や満足度の向上、企業・業界の活性化を促し離職率の低下を図るというもの。受賞メンバーは「最優秀賞を取る自信はなかつたが、自分たちの楽しい気持ちだけは伝えたかったので、このような結果が出てとても嬉しい」などと喜びを露わにし、中には涙ぐむ姿もみられた。他グループからも「皆レベルが高く刺激を受けた。緊張したがとても楽しかった」と多くの参加者が高い満足度でフォーラムを終えた。

人材育成委員会

12月12日
日本橋三洋グループビル会議室
出席委員等15人

高い満足度で今期を終えた。来期もフォーラムは継続して実施する予定。東京開催は今までの流れを踏襲し、九州開催は参加者不足が懸念されるため募集方法を検討する必要があることを確認した。またフォーラムだけではなく派遣担当者やこれまでの参加者に焦点を当て、部下をフォーラム等に参加させたくなる仕組みづくりやフォーラム参加者のその後の活躍ぶりなど、事業最終予定年に成果物としてまとめることも検討した。業界の人事関連課題の整理と研究について、来期に業界の人材労務に特化したHPの作成を計画していたが、多くの課題があることから一度決定を見送り、運営方法など引き続きの検討課題とした。

で、日遊協ではその趣旨に賛同し、どのように取組んでいかかについて研究をスタートさせている。11月に行われた第1回目の勉強会を皮切りに、これまで社会貢献・環境対策委員会と広報調査委員会が先行して協議を重ね方向性や具体的な取り組み方などを探ってきた。説明を行った広報調査委員会の佐藤聖子副委員長は今後の活動内容とともに、協会内での認識が浸透し具体的なアクションを起こす段階に入った際には、専用ホームページを制作して内外に取り組みを示していきたい考えも示した。

社会貢献・環境対策 委員会

究について、来期に業界の人材労務に特化したHPの作成を計画していたが、多くの課題があることから一度決定を見送り、運営方法など引き続きの検討課題とした。

社会貢献・環境対策委員会

日遊協の「SDGs」の取り組みに関する報告が行われた。「SDGs」は、持続可能な世界・社会を実現するため企業等が目指すべき17の取組目標などが示されているもの